

第47回全国林業後継者大会 2018福島大会 in いわき

～未来へとつなげる心 ^{もり} 森林づくり～

実施計画書

- (1)開催目的** この大会は、第69回全国植樹祭関連行事として、全国の林業後継者が一堂に会し、森林づくりへの先人の考えや担い手としての日ごろの取組について意見を交わし、豊かな森林を次世代に継承する思いを全国に発信するために開催する。
また、東日本大震災からの森林・林業の復興・創生への支援に感謝する気持ちと力強く歩みを続ける福島県の姿を国内外に発信する。
- (2)基本理念** 昭和45年に猪苗代町で開催された「全国林業後継者のつどい」が「全国林業後継者大会」の先駆けとなり、再び本大会が本県で開催される。
過去から現在へとつながった林業後継者の思いが、さらに未来につながるよう基本理念は次のとおりとする。
- ・ 豊かな森林を未来につなげる。
 - ・ 森林を守る心を後世につなげる。
 - ・ 森林を活かす技術を次世代につなげる。
- (3)開催テーマ** もり
「未来へと つなげる心 森林づくり」
- (4)大会概要**
- 大会名 第47回全国林業後継者大会
2018福島大会 in いわき
 - 開催日 平成30年6月9日(土)
 - 開催場所 (1) 全国林業後継者大会 いわき芸術文化交流館アリオス
(2) 交歓の夕べ グランパルティいわき
 - 主催 福島県林研グループ連絡協議会、全国林業研究グループ連絡協議会、
いわき市、福島県
 - 後援 林野庁、一般社団法人全国林業改良普及協会、
公益財団法人大日本山林会
 - 大会運営 第47回全国林業後継者大会福島県実行委員会
(構成団体)
福島県林研グループ連絡協議会、福島県指導林家連絡協議会
公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会、福島県森林組合連合会、
福島県木材協同組合連合会、福島県農林種苗農業協同組合、
福島県さのこ振興協議会、福島県林業経営者協会、福島県木材青壮年協会、
福島県素材生産協同組合、いわき市森林組合、磐城林業協同組合、
NPO法人いわきの森に親しむ会、いわき市、福島県
 - 大会規模 (1) 全国林業後継者大会 約450名
(県外約200名、県内約200名、スタッフ約50名)
※その他一般参加者を100名程度受け入れる予定
(2) 交歓の夕べ 約200名
(県外約150名、県内約50名)

参加者名簿を貼付
(第5回会議までに決定)

■大会会場

◎いわき芸術文化交流館アリオス 大ホール

〒970-8026 福島県いわき市平字三崎1番地の6 TEL.0246-22-8111 FAX.0246-22-8181



- 大会会場は**大ホール**を使用。
- 使用客席は**1F 878席**を予定。



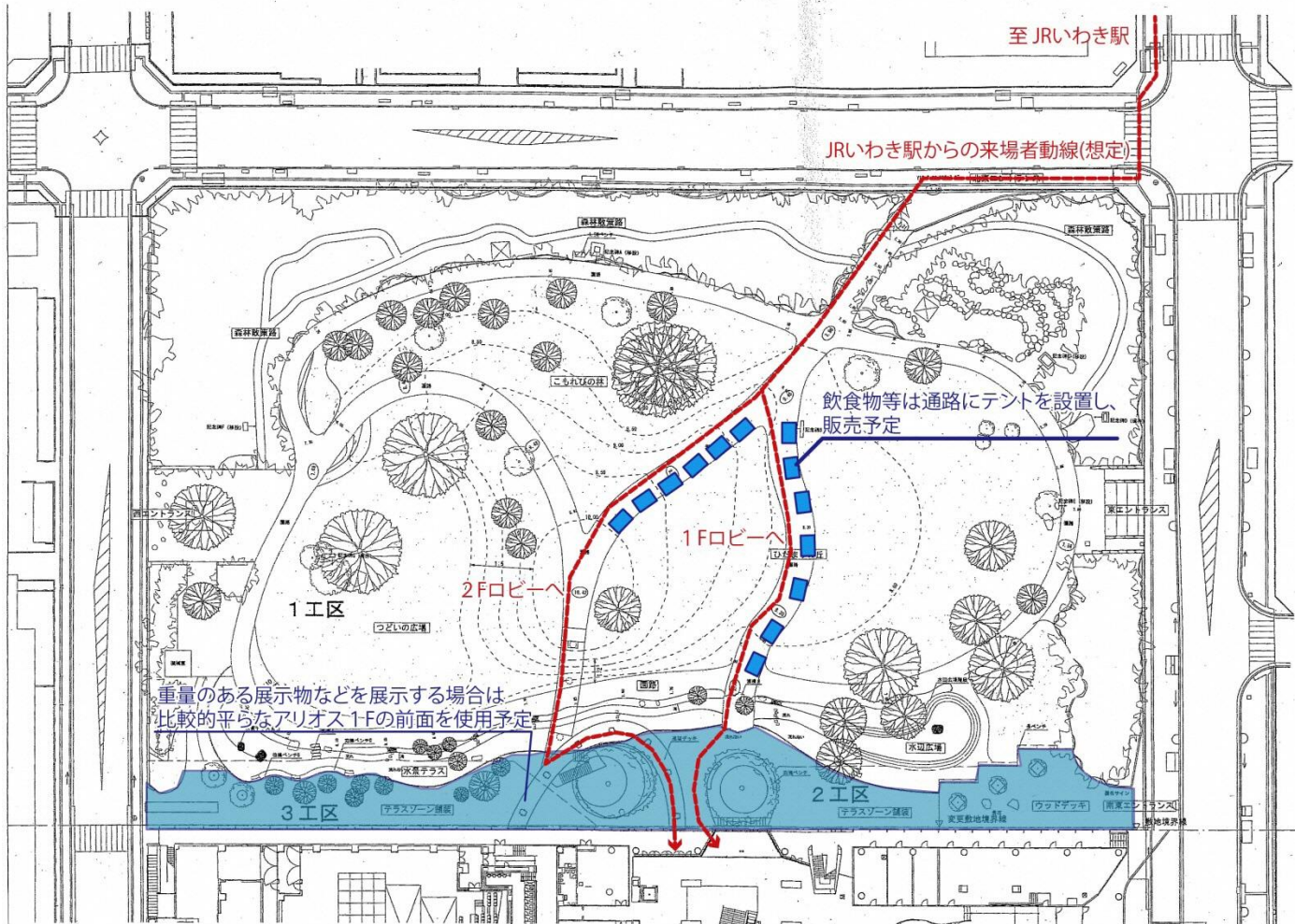
■ホワイエ



- 大会受付を設置。
- 県内の森林・林業の取組や林業後継者の活動、及び県内観光、物産品等のPRを実施。
- 地域の物産品等の販売、林業関係機械器具等の販売。**要申請**。
飲食物は不可。
- ホワイエでの物販が出来ない物。飲食物や、大型の展示物などは平中央公園で対応を検討します。
※いわき市でこの大会に合わせ「トマトフェス」の開催を検討

参加者に大会への期待感を高めていただき、また来県への感謝の意を表現するプロムナードとしてレイアウトします。

- ・平中央公園は緩やかな傾斜のある公園の為、展示物の設置場所には制約があります。
 - ・アリオス大ホールホワイエで展示・販売ができないものと飲食店テントを設置予定。
 - JRいわき駅からの徒歩動線を下記のように想定した場合、動線沿いに飲食テントを設置します。
 - ・重量のある展示物などは比較的平らなアリオスの正面に設置します。
- ※いわき市でこの大会に合わせ「トマトフェス」の開催を検討



■全国林業後継者大会

①大会会場

いわき芸術文化交流館アリオス 大ホール



大ホール



ホワイエ

②受付 12:30～

受付場所 アリオス2F大ホール前ホワイエ

③オープニングプログラム 13:30～13:35

オープニング映像「復興に向かう ふくしまの森林林業」(仮称)

- ・昭和45年に本県で開催した全国植樹祭と全国林業後継者のつどい
- ・震災前の福島の森林林業
- ・震災により影響を受けた本県の森林林業
- ・震災から復興に向けて動き出している本県の森林林業

④開会式典 13:35～14:05

i. 開会の言葉

福島県実行委員長（福島県林研グループ連絡協議会会長）

ii. 主催者あいさつ

福島県副知事
全国林業研究グループ連絡協議会会長

iii. 歓迎の言葉

いわき市長

iv. 来賓祝辞

林野庁長官
(一社)全国林業改良普及協会会長

v. 来賓紹介

司会：福島中央テレビアナウンサー 小野 紗由利 氏 (予定)

《出身地》 福島県いわき市

《生年月日》 1991年 3月 5日

《経歴》 2013年入社

現在 夕方の情報番組「ゴジてれChu！」を担当



⑤活動発表とトークセッション 14:05~16:15

i .鼎談等「先輩方からの発表」

・昭和45年の全国植樹祭及び全国林業後継者のつどいの参加者を招き、現在までの林業の姿を振り返るとともに後継者への期待を発表頂く

コーディネーター 京都府立林業大学校 客員教授
高知県立林業大学校 特別教授 藤野 正也 氏

鼎談者 いわき市森林組合 代表理事組合長 田子 英司 氏 (指導林家)
北塩原村農家 山本 壽美子 氏 (昭和45年全国植樹祭において介添)
猪苗代町議 佐藤 英一郎 氏 (昭和45年全国林業後継者のつどいにおいて発表)

ii .活動発表「現役世代からの発表」

・会津、中通り、浜通りそれぞれの地域で現在林業に従事する世代の優良な活動事例や森林づくりの取組を発表頂く。

発表者 水野林業 水野 廣人 氏 テーマ「第4回実行委員会までに決定」
人工林率が高い古殿町の間伐等森林施業の地域の担い手として祖父、父といっしょに働いている。
高性能林業機械を導入するなど積極的に森林整備を進めている。

NPO法人みなみあいづ森林ネットワーク事務局長 松澤 瞬 氏 テーマ「第4回実行委員会までに決定」
S G E C森林認証の普及と認証材を利用した木造建築・家具・食器・玩具・きのこ・アロマオイル・
薪等のブランド化を目指した活動を実施。

田人林業研究会 緑川 平隆 氏 テーマ「第4回実行委員会までに決定」
磨き丸太等の生産技術研修や田人地区のイルミネーション、門松づくりなど地域に根ざした活動を実施。
※昭和45年の全国植樹祭決意表明を行った緑川平壽氏の子息の平隆氏が、親の意思を引き継ぎ
現在の取組につなげていることを発表

iii .パネルディスカッション「現役世代からの発表を踏まえたパネルディスカッション」(テーマ未定)

・先輩方と現役世代によりこれからの福島県の林業についてパネルディスカッションを行う。

コーディネーター 京都府立林業大学校 客員教授
高知県立林業大学校 特別教授 藤野 正也 氏

発表者 上記 i、ii の発表者6名を予定
いわき市森林組合 代表理事組合長 田子 英司 氏
北塩原村農家 山本 壽美子 氏
猪苗代町議 佐藤 英一郎 氏
水野林業 水野 廣人 氏
N P O法人みなみあいづ森林ネットワーク事務局長 松澤 瞬 氏
田人林業研究会 緑川 平隆 氏

iv. 休憩&アトラクション 『にな☆コレ2018』(林業担い手コレクション2018)

- 各機械メーカー及び県内林業事業者の協力により、防護服や作業着を着た若手作業員が会場を颯爽と歩いてPRを行う。



v. 活動発表「次世代からの発表」

- 大学生、高校生、中学生のそれぞれの世代から、現在の林業及びこれからの林業に対する思いや自らが行う活動について発表頂く。

発表者・大学生代表

福島大学とげつちよ組「発表者は平成30年4月までに決定。テーマは第4回実行委員会までに決定」

地域の住民とともに考案した間伐材を利用したものを多くの県民が集まるイベントで披露し、県内の森林の現状を伝え、森林に関する興味関心を持たせる活動を行っている。

・高校生代表

福島県立会津農林高等学校「発表者は平成30年4月までに決定。テーマは第4回実行委員会までに決定」

森林環境科（生徒数約90名）では漆樹の苗木栽培や、会津若松市の漆団地、ボランティア団体主催の植樹活動にも参加するなど、漆樹の保護・育成に取り組んでいる。

・中学生代表

天栄村立天栄中学校「発表者は平成30年4月までに決定。テーマは第4回実行委員会までに決定」

林業、森林環境教育を実施。平成28年は林業祭の見学や、チェーンソー実演見学など林業の研修を実施した。

⑥閉会式典 16:15~16:30

- i. 大会宣言 有限会社 豊田林業 豊田 和弘 氏
有限会社 平子商店 平子 睦美 氏

大会宣言案 をプロット
第5回会議で決定

- ii. 次期開催県あいさつ
愛知県実行委員会会長

- iii. 閉会のことば
福島県実行委員会副会長

⑦閉会 16:30

■会場

◎ **グランパルティいわき グランオリエンタル**
〒970-8036福島県いわき市平谷川瀬明治町30
TEL.0246-35-2000 FAX. 0246-35-2001



■会場アクセス

参加者徒歩移動。大会会場から徒歩5分。

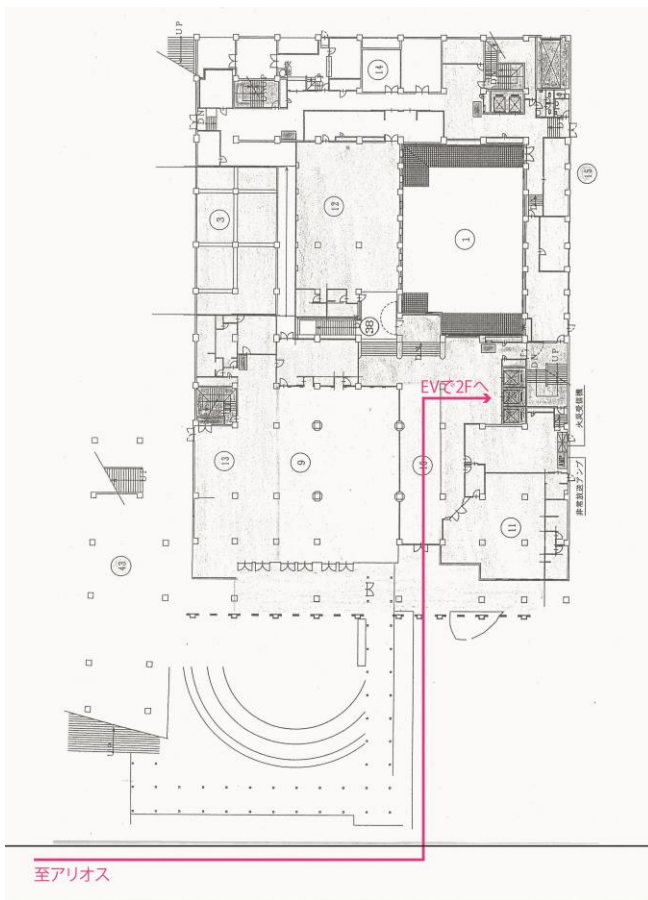


- JR常磐線いわき駅より車で7分
- 常磐自動車道いわき中央インターより車で15分

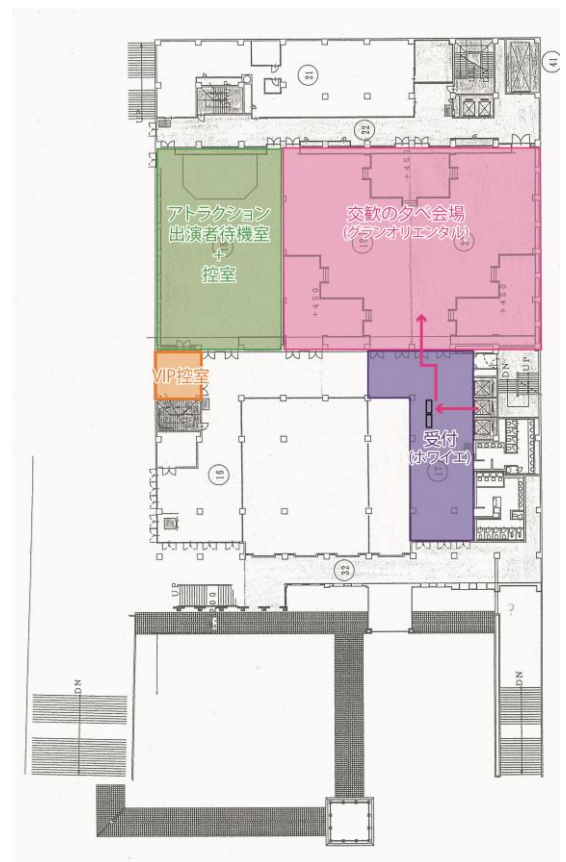
■会場導線図



交歓の夕べ、受付は2Fを予定。アリオスから徒歩でいらっしゃる参加者を混乱なく、誘導出来るよう誘導員を配置します。



1F 平面図



2F 平面図

■交歓の夕べ

来県への感謝の意を福島県ならではの食材とアトラクションで表現します。

①会場

グランパルティいわき 2F グランオリエンタル



②受付 17:00~

受付場所 グランパルティいわき 2F ホワイエ



③プログラム 17:30~

i. 主催者あいさつ

全国林業研究グループ連絡協議会会長

ii. 激励の言葉

林野庁研究指導課長
大日本山林会会長

iii. 歓迎の言葉

いわき市副市長

iv. 乾杯

福島県林研グループ 顧問

v. ご歓談

vi. アトラクション

ハーラウラウラーナニ フラダンスショー 披露

vii. 万歳

愛知県林研グループ代表

アトラクション 出演者 プロフィール

フラダンス教室 ハーラウ ラウラーナニ 代表者 リノラニ あゆみ 氏

福島県いわき市に拠点を置く、リノラニあゆみ先生率いる「ハーラウ ラウラーナニ」リノラニあゆみ氏は、スパリゾート・ハワイアンズで昭和62年から平成14年まで第23期生として籍を置き、ソロのトップダンサーとして活躍し、引退後は自己の教室、ハーラウ ラウラーナニを開設。これまでに福島県の代表として、全国生涯学習フェスティバル2008で開会式のステージを任せ、秋篠宮殿下、妃殿下の前で華やかな踊りを披露。現在は北海道から沖縄県まで全国を駆け回り福島県のPR活動としてイベントに参加するなど、各地で精力的に活躍。ハーラウとはハワイ語でフラの教室、ラウラーは「公に、広く」、ナニは「美しい」という意味を持つ。広く美しくフラを広めていきたいとの願いのもと、フラを愛し、心から踊ることを楽しんでいます。



司会進行

全国林業後継者大会の司会に引き続き、福島中央テレビアナウンサー 小野 紗由利 氏 (予定)が行います。

■ 歓迎フラッグ

JRいわき駅の掲示可能な場所にのぼりの設置協力を依頼します。
JRいわき駅からアリオスまでの動線に面する商店などにのぼり・ポスターの設置協力を依頼します。

のぼり、ポスターデザイン、掲出場所をプロット
(第5回会議までに決定)

■ 平中央公園・アリオスホワイエ展示

平中央公園で飲食テントを設置、アリオス内での展示、トマトフェス(開催検討)等を展開します。

■ 大会記念品 (招待者)

大会招待者には、いわき市よりご提供頂く、市内に工場が立地する大手スポーツメーカー制作のオリジナルTシャツと国産ヒノキ間伐材で作られたマグネットバーを差し上げます。



左袖に大会ロゴをプリント予定。
色は変更の可能性あり。



名入れ内容は変更の可能性あり。
個包装予定。

■交通

- ・県外参加者は、常磐線などで集合して頂きます。
- ・県内参加者についても高速バスなど公共交通機関などで集合して頂きます。
- ・バス、自家用車の駐車場はいわき市役所裏梅本駐車場に駐車頂きます。台数は268台を予定しています。

■誘導

- ・「JRいわき駅」には横断幕、案内コーナー、会場までの案内板を設置予定。
徒歩での移動が困難な方に路線バスやタクシーを案内する誘導員を配置予定。
- ・駐車場には整理及び誘導員を配置予定。
- ・「JRいわき駅」から「アリオス」までは、誘導整理員、案内板とのぼり旗で誘導予定。

■宿泊

- ・前泊を希望する方には宿泊施設を手配いたします。



■ 一般受付及び誘導

- ・アリオス 2Fホワイエで受付を行います。
- ・手荷物は受付で受領し、荷札を渡して返却時に交換します。
- ・1F及び大会会場の2Fに案内板を設置します。
- ・館内が広いので、要所に案内看板を設置します。

■ 来賓受付及び誘導

- ・来賓は大ホール裏の楽屋にご案内しご休憩頂きます。
- ・来賓の随行員も楽屋を手配し、ご休憩頂きます。
- ・大会開始 10分前に大ホール袖にご案内します。

■ 宿泊計画

- ・後継者大会参加者は、いわき市内のホテル数が所に分かれお泊り頂く予定です。
- ・宿泊手配については、全国植樹祭との連携を予定しています。
- ・大会受付時に宿泊の案内を行う予定です。

参加者の宿泊先JTB様で作成後プロット
(第5回会議までに決定)

■大会PRチラシ 作成、配布

- ・大会チラシを作成し、開催案内などに使用予定。
- ・いわき市内に貼り出すポスターを制作予定。

■のぼり旗

- ・駅周辺及び会場への誘導のためののぼりを制作し、設置予定。

■横断幕

- ・歓迎の意を表する大型看板をJRいわき駅内に設置予定。

■オープニング用動画(プロモーションビデオ)制作

- ・実行委員会が、県内の林業関係者の活躍を紹介する動画を制作し、大会のオープニングで使用します。
- また、大会前にはYoutubeなどでの配信を検討します。

■スタッフユニフォーム

- ・大会参加スタッフのユニフォームを制作し統一します。

■資料バッグ

- ・大会資料の配布のためのバッグを作成します。

■関係PR

- ・森林林業関係のイベント等の様々な機会をとらえてPRを実施する。

■ 開催案内

- ・実行委員会での実施計画の承認後に中央団体、県内外に開催内容を通知します。
- ・県内参加者については関係団体などを通じ参加を要請します。

■ 後援依頼、招待案内

- ・実施計画承認後に、全国林業研究グループ連絡協議会、全国林業改良普及協会、大日本山林会、林野庁に大会概要を説明し、後援依頼と共に参加を要請します。
- ・県内関係団体(実行委員会構成団体)に後援依頼とともに参加を要請します。

運営体制・業務分担をプロット
(第5回会議までに決定)

■ 連絡体制等

- ・不測の事態に対応できるよう、大会本部、スタッフ、警察、消防、医療機関との連絡体制を定め、関係者に周知します。
- ・翌日の全国植樹祭の運営に支障が生じないよう、植樹祭実施本部との連携を密に進めます。

緊急時連絡体制をプロット
(第5回会議までに決定)